

平成 14 年 3 月 8 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A C C E S S
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 川 亨
(コ ー ド 番 号 4 8 1 3 東 証 マ ー ズ)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 室 長 室 伏 伸 哉
(T E L . 0 3 - 5 2 5 9 - 3 5 1 1)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13 年 3 月 19 日(単体)及び平成 13 年 6 月 18 日(連結)に公表した平成 14 年 1 月期(平成 13 年 2 月 1 日～平成 14 年 1 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結 業績予想数値の修正(平成 13 年 2 月 1 日～平成 14 年 1 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,447	1,038	1,019
今回修正予想(B)	5,064	1,060	1,379
増減額(B-A)	617	22	360
増減率(%)	13.9	-	-
(ご参考)			
前期実績	2,529	698	737
当期第4四半期(11～1月)見通し	1,338	194	349

(金額の単位:百万円)

2. 単体 業績予想数値の修正(平成 13 年 2 月 1 日～平成 14 年 1 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	4,000	381	385
今回修正予想(B)	4,916	56	621
増減額(B-A)	916	324	236
増減率(%)	22.9	-	-
(ご参考)			
前期実績	2,519	459	498
当期第4四半期(11～1月)見通し	1,264	177	5

(金額の単位:百万円)

3. 修正の理由

当初予想と比較して、売上高につきましては、モバイルインターネットの急激な普及のなかで、製品売上高、ロイヤリティー収入ともに順調に推移しております。

単体ベースでは、製品売上高の利益率の大幅な改善、ロイヤリティー収入の売上高構成比の向上及び組織体制整備の一巡による人員採用の抑制等により、営業損益及び経常損益は、第3四半期(3ヶ月ベース)に引き続き、第4四半期(3ヶ月ベース)でも黒字化の見通しとなりました。

また、前期より当社とのシナジー効果が期待できる事業への出資を行いました。これら事業がいずれも先行投資の段階にあり、一部の関連会社につきましては、持分法投資損失を計上したため、連結ベースでは、経常損失が微増する見込みであります。

単体ベースにおきましても、財務的健全性の確保のため、一部の関連会社及びその他の投資先について、第3四半期及び第4四半期において、投資有価証券評価損を各々、389百万円、185百万円、合計574百万円計上したため、当期純損失は増加する見込みであります。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控え下さい。

以上